

NETIS登録番号	技術名称	SEEE/KIT受圧板			
QS-040016-V	副題	グラウンドアンカー用鋼製受圧板			
分類1	共通工	アンカー工	グラウンドアンカー工	キーワード:安全・安心,コスト削減,生産性の向上,景観	
分類2					
開発目標	省力化,経済性の向上,安全性の向上,周辺環境への影響抑制				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input checked="" type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input type="checkbox"/> 有り(特許番号:) <input checked="" type="checkbox"/> なし				
技術賞,審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	株式会社エスイー 九州支店		TEL	092-473-0191
	住所	福岡市博多区博多駅前3-5番-7 博多センタービル12階		E-MAIL	takashi_nishimoto@se-corp.com
	担当者	西本 尊			
実績件数 H26.4月現在	国土交通省	その他の公共機関		民間等	
	424件	1671件		102件	

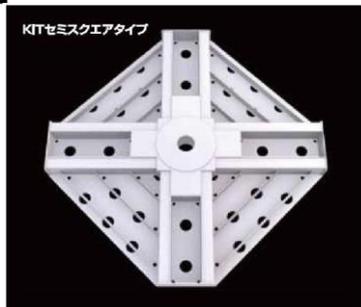
技術概要:(300字以内)

アンカー用反力体は従来、現場打ち法砕工やコンクリート部材が多用されており、環境への配慮から枠内緑化や周辺緑化が実施されてきた。しかしその断面形状が大きいため、緑化を施してもコンクリート部材は長年露出していることや、格子状に配置された枠による場合は、植生の連続性を絶たれるなど、景観・環境上の問題が残されたままになっていた。SEEE/KIT受圧板工法は、枠高さを低くすることで、植生による全面緑化に近い開放型緑化を可能にし、周辺環境との調和を図ることを目的として開発された鋼製受圧板である。

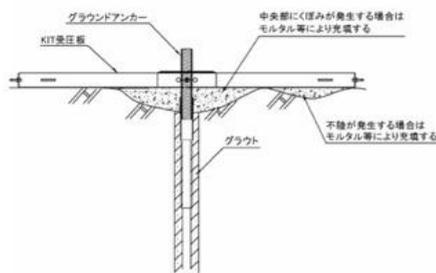
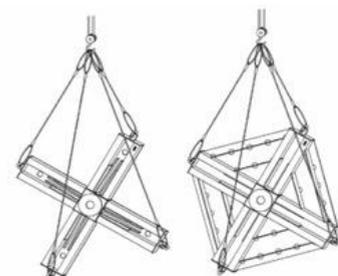
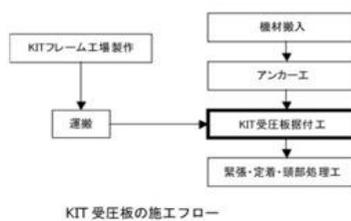
1.技術の内容

- ①中空の鋼板を井桁に組合せるとともに、補強リブを採用することなどにより、126~773kg/基と軽量である。
- ②アンカーの間隔・荷重・地耐力に応じて72種類のタイプから選定できること、または、現場に合わせて任意の形状とすることができる(法枠の枠内に設置できる形状など)ので、経済的で効果的な斜面安定工法を提供できる。
- ③反力体高さを低く(10~23cm)抑えた。
- ④「亜鉛アルミ合金溶射」により防食を施している。

2.KIT受圧板形状



3.施工方法(吊り上げ・据え付)



不陸が大きい場合の設置地盤の処理

4.KIT受圧板の緑化例

KIT 受圧板 植生工との併用例



写真-1 植生基材吹付前

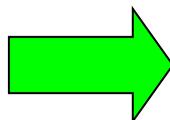


写真-2 緑化4ヵ月後